

スポーツ・レクリエーション

1. 現 況

超高齢社会の到来、少子化と複雑化する社会の構造の変化に伴い、健康や生きがいへの市民の関心が高まるとともに、生活水準の向上や労働時間の短縮による自由時間の増大により、スポーツ・レクリエーションへの欲求はますます強まり、その目的も、生活の中でのゆとりや心の豊かさ、自己啓発、健康体力づくりなど、多種・多様化している。

このようなことから、市民総スポーツ・レクリエーションの定着を目指して、社会体育事業の開催、各種スポーツ・レクリエーション団体の育成、高齢者の健康体力づくり、子どもの体力向上及び競技力向上、海洋性スポーツの普及、社会体育指導者の養成、公共体育施設の整備、学校体育施設の開放、健康づくり情報等の提供などを進めている。

〔参考〕各種委員会・各種団体

(1) 鹿児島市スポーツ振興審議会

設置年月日 昭和43年10月1日

委員数 18名

審議会 年3回

(2) 鹿児島市体育協会

設立年月日 昭和27年4月20日

加盟団体 37団体

活動 各種競技大会・講習会等の開催、加盟団体の育成・強化

(3) 鹿児島市体育指導委員協議会

設立年月日 昭和40年5月26日

委員数 186名（うち女性52名）

活動 定例会（年4回）、スポーツ活動の企画運営

(4) 鹿児島市スポーツ少年団

① 本部委員会

設立年月日 昭和42年6月21日

委員数 32名

活動 交歓交流大会の開催、指導者・母集団研修会の開催、年末クリーン作戦の実施等

② 指導者協議会

設立年月日 昭和41年2月10日

役員 36名

組織 12ブロック 19種目

(5) 鹿児島市レクリエーション協会

設立年月日 平成6年9月28日

加盟団体 26団体

活動 スポーツ・レクリエーションの普及・推進活動、指導者養成

2. 施策の方向性

- (1) 公共体育施設の計画的な整備を図るとともに、県等の施設や民間のスポーツ施設との連携を推進する。
- (2) 市民ニーズに応じたスポーツイベントの開催や地域に根ざしたスポーツクラブの育成と自主的・主体的な運営を支援する。
- (3) スポーツ・レクリエーション活動に関する情報提供に努める。
- (4) 生涯スポーツ指導者の資質の向上に努めるとともに、スポーツリーダーバンクの整備を進め、また、スポーツボランティアの育成と活用を推進する。

- (5) スポーツ選手の計画的な育成と強化を進める競技団体を支援する。
- (6) 全国レベルでの活躍が期待される選手の活動を支援する。
- (7) トップレベルの選手及びチームと連携し、競技スポーツのレベルアップを推進する。
- (8) 関係部局と連携し、国際・全国スポーツ大会の開催や、スポーツキャンプ等の誘致を図る。

3. 事業の概要

(1) 生涯スポーツの推進

① 市民体力づくり事業（昭和48年度から実施）

健康体力づくりに必要な知識や技能を習得するとともに、自己の体力の状況を知り、体力に適した運動を行える環境づくりを図る。また、各自に適したスポーツを選択する機会を設け、市民の健康体力づくりに資する。

ア 地域を対象としたスポーツ教室等

- ・卓球・・・中洲校区、川上校区
- ・バドミントン・・・西谷山校区
- ・ソフトバレーボール・・・坂元校区
- ・ニュースポーツ体験講座・・・坂元校区、西谷山校区
- ・タグラグビー体験講座・・・草牟田校区、坂元台校区、原良校区、大竜校区、坂元校区

イ 市内全域を対象としたスポーツ教室等

- ・鹿児島アリーナ「さわやかスポーツ教室」（鹿児島アリーナで平成4年度から実施）
- ・親子ふれあい水泳教室（鴨池公園水泳プールで昭和59年度から「幼児と母親水泳教室」として開設、平成23年度から現在の名称で実施）
- ・レディース水泳教室（鴨池公園水泳プールで平成元年度から「婦人水泳教室」として開設、平成5年度から現在の名称で実施）
- ・初心者ナイターテニス教室（茶山ドームまつもとで平成6年度から実施）
- ・初心者ナイターソフトテニス教室（東開庭球場で昭和49年から実施）

ウ 市民体力テスト（2会場）

- ・日時 平成23年6月11日（土）、場所 川上小学校 体育館・運動場
- ・日時予定 平成23年9月4日（日）、場所 松原小学校 体育館・運動場

エ 健康体力相談（年間3回）

対象 一般市民、場所 鹿児島アリーナ

オ スポーツマップの作成・配布

施設の利用案内や地域スポーツクラブの情報を掲載したスポーツマップを作成・配布する。

② 海洋性スポーツ事業（平成元年度から実施）

多様化する市民のスポーツ要求に応えるとともに、ウォーターフロント開発の一環として、錦江湾を生かした海洋性スポーツの普及・振興を図る。

ア ヨットとふれあう帆走体験（年間6回）

対象 小学生以上、場所 平川ヨットハーバー

イ ジュニアヨット教室（1教室×5日間）

対象 小学1年生以上中学生まで、場所 平川ヨットハーバー

ウ 初心者ヨット教室（1教室×5日間）

対象 高校生以上、場所 平川ヨットハーバー

エ シーカヤック体験講座（年間7回）

対象 小学1年生以上中学生と親、または、高校生以上の2人組

場所 磯海水浴場、生見海水浴場

③ 市民生き生きスポ・レクフェスタ（昭和61年度から実施）

市民が、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも楽しく実践できる各種スポーツやレクリエーション

ンの実践をとおして、自らの健康体力づくりを進める気運を高め、明るく潤いと温もりに満ちた生き生き健康社会づくりに資する。

ア 生き生きカップ大会：17種目（フットサル、グラウンド・ゴルフ等）

イ 体験種目：11種目（社交ダンス・3 B体操等）

④ 地域スポーツクラブ育成事業（平成14年度から実施）

市内13地域にある地域スポーツクラブが主催するスポーツ教室へ講師等を派遣し、各クラブの活動を促進するとともに、諸相談への対応や研修会の開催などにより、円滑なクラブ運営を支援する。

市ホームページやスポーツマップなどにより、広報・周知を図る。

⑤ 学校体育施設開放事業（昭和49年度から実施）

日常生活圏内に身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、学校教育に支障のない範囲内で学校体育施設（体育館・柔剣道場・運動場）を開放する。

本年度は、117校（小学校：78 中学校：38 高校：1）に運営協議会を設置し、適正な開放がなされるよう努めている。

ア 校庭の昼間の開放

イ 体育館の夜間の開放

・117校に管理指導員を配置して開放。

・昭和57年7月1日から1時間300円の範囲で照明設備使用料を徴収。平成23年4月1日から1時間100円に改定。

ウ 学校プールの開放

児童生徒が水に親しみ泳力の向上を図り、体力づくりに励む気運を醸成するため、監視員を置いて、小中学校のプールを夏休み中に開放する。

エ 運動場夜間照明施設の整備

夜間でも市民が屋外スポーツに親しめるよう、学校運動場に照明設備を設置し、管理指導員を配置して開放する。

夜間照明施設設置校（照明施設使用料は、30分につき350円）

小学校…中山，広木 計2校

中学校…吉野，伊敷，長田，城西，東谷山，鴨池，坂元，西陵，吉野東，武，河頭，東桜島，南，福平，伊敷台，甲東，甲南，清水，吉田南 計19校

⑥ 海水浴場施設管理事業

ア 海水浴場

平成17年度から公設の海水浴場として4つを有することになり、それぞれの地域の特性や恵まれた自然環境を生かしながら、市民の方々に親しまれる海水浴場づくりに努めている。

・磯海水浴場（吉野町）…開設期間7月9日～8月31日，平成22年度利用者数39,636人

・生見海水浴場（喜入生見町）…開設期間7月21日～8月31日，平成22年度利用者数5,588人

・西道海水浴場（桜島藤野町）…開設期間7月21日～8月31日，平成22年度利用者数1,390人

・レインボービーチ（観光振興課所管，桜島横山町）…開設期間7月21日～8月31日，平成22年度利用者数5,656人

イ 磯ビーチハウス（吉野町9684-2，昭和63年7月建築）

シャワー室（男女各32基），ロッカー，男女更衣室などを備える。

敷地面積 1565.13㎡，延床面積 1069.33㎡

ウ 生見ビーチハウス（喜入生見町1345-8，平成22年7月建築）

シャワー室（男女各4基），ロッカー，男女更衣室などを備える。

敷地面積 447.45㎡，延床面積 184.05㎡

⑦ 体育施設等整備事業

体育施設設備及び備品の整備を行い、施設の充実を図る。

・各体育施設の維持管理

・ランニングコースの設置

市民が身近なところでランニングやウォーキングにより健康・体力づくりができるよう、ランニングコースを設置している。

	校 区	場 所	距離(m)		校 区	場 所	距離(m)
1	明 和 中	明和小・中周辺歩道	1,400	15	星 峯 中	星峯西小周辺	1,020
2	和 田 中	谷山緑地公園内	1,200	16	武 中	武小周辺	800
3	坂 元 中	坂元小前住宅周辺歩道	770	17	伊 敷 中	西高校周辺	1,000
4	西 陵 中	西陵小周辺歩道	740	18	福 平 中	福平小周辺	1,600
5	西 紫 原 中	紫原中央公園周辺	1,400	19	武 岡 中	武岡小周辺	570
6	鴨 池 中	鴨池小周辺歩道	1,200	20	長 田 中	大龍小周辺	500
7	吉 野 中	吉野中周辺歩道	1,000	21	谷 山 中	県農業試験場付近	800
8	緑 丘 中	伊敷中央公園周辺	500	22	南 中	南小・中周辺	725
9	甲 東 中	甲突川周辺	1,000	23	皇 徳 寺 中	皇徳寺中付近	2,000
10	天 保 山 中	県運動中央公園周辺	1,900	24	谷 山 北 中	中山小周辺	622
11	清 水 中	清水小周辺	700	25	伊 敷 台 中	かに座公園周辺	500
12	東 谷 山 中	東谷山小周辺	1,250	26	甲 南 中	甲突川流域	1,483
13	桜 丘 中	桜丘中央公園周辺	600	27	そ の 他	星ヶ峯団地	3,920
14	城 西 中	西田小周辺	550				

⑧ スポーツ・レクリエーション意識調査事業

ア 目的

市民のスポーツ・レクリエーションに関する活動の実態と意識を調査し、今後の施策の参考とする。

イ 調査区域及び時期

市内全域、平成23年4月～7月

ウ 調査対象

20歳以上の男女3,000人

エ 調査内容

スポーツ・レクリエーションの実施状況と意識について

(2) 競技スポーツの推進

① 競技力向上対策事業

1年間に2競技を対象に中央から講師を招聘し、競技力の向上に関し、講義や実技研修等を行う。
23年度はバドミントン及びハンドボールを実施する。

② 全九州剣道錬成会の実施

九州各県の中学生を中心に、剣道の競技力向上を目的とした交流会を実施する。

・開催日時 平成23年12月17日(土)～18日(日)

・開催場所 鹿児島アリーナ

③ 2011年世界室内自転車競技選手権大会鹿児島大会

1930年(昭和5年)ドイツで始まった世界室内自転車競技選手権大会を鹿児島市で開催する。

・開催日時 平成23年11月4日(金)～6日(日)

・開催場所 鹿児島アリーナ

・競技種目 サイクルサッカー、サイクルフィギュア

・参加国数 ヨーロッパを中心に約20の国・地域

・選手数 約200人

4. 鴨池公園等

(1) 鴨池公園の沿革

昭和3年7月1日、鹿児島市が鴨池公園、動物園、球技場、陸上競技場を鹿児島電気軌道株式会社から買

収し、電気局所管で発足した。

昭和15年、紀元2,600年記念事業として、総合運動場の建設が竣工し、陸上競技場ならびに野球場、庭球場が名実共に完成した。

戦後、スポーツが盛んになるにつれ、昭和24年には野球場が大改修された。

そして陸上競技場も昭和25年には大改装され、第34回全国陸上競技選手権大会や日米対抗陸上選手権大会を開催してきた。

しかし、昭和47年太陽国体のサッカー会場として改修され、昭和48年売却が決定し、その姿を消した。

一方、昭和46年には、国体の水泳会場として鴨池公園水泳プールが、軟式庭球場として東開庭球場が新しく完成した。

また、昭和57年度全国高校総合体育大会が「南国に競え若人、はぐくめ友情」のスローガンのもとに開催され、会場となった鴨池公園水泳プール、東開、鴨池両庭球場で数々の成果を取めた。

さらに、平成元年7月には、老朽化していた鴨池市営野球場を全面的に改築し、施設、設備も整い、機能の面も充実した野球場に生まれ変わった。これを機会に鴨池市営野球場から鴨池市民球場と名称を改めた。

平成18年度から、多様化する住民ニーズにより、効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを目的とし、施設の管理運営を民間団体で行う「指定管理者制度」を導入した。

平成20年度から、老朽化した鴨池公園水泳プールを改修するため、本市初の取り組みとなる公共施設等の設計から建設・運営・維持管理を民間の資金・経営能力及び技術能力を活用して行う手法（PFI手法）により新鴨池公園水泳プール整備・運営事業を実施し、平成23年度4月に供用開始した。

(2) 施設の概要及び使用状況

① 鴨池公園野球場（鴨池市民球場）

- 開場日 昭和15年7月
- 所在地 鴨池二丁目27番1号 (☎253-6610 FAX253-6624)
- 利用時間 8:30~17:00
- 休場日 12月29日~1月3日
- 面積 15,975㎡
- 昭和15年建設、昭和42年大改修、昭和56年スタンドベンチ改修
昭和58年 スコアボード改修
昭和63年~平成元年全面改装、名称を鴨池市民球場に改める。
平成8年 スコアボード改修
平成23年 防球フェンス改修

鴨池市民球場の概要

区 分	
センターライン	本塁から 120m
ファウルライン	〃 93m
バックネットまで	〃 19m
バックネットの高さ	〃 10m
スタンド全長	60m (一塁側) 60m (三塁側)
外野スタンド延長	240m
内野スタンド高さ	5.15m
収容人員	約7,000人

- 利用状況は、平成22年度46,285人で、高校野球や軟式野球の各種大会等に利用されている。

② 鴨池公園多目的屋内運動場（鴨池ドーム）

- 開館日 平成9年2月1日
- 所在地 鴨池二丁目29番3号 (☎・FAX250-0705)
- 利用時間 9:00~21:00
- 休場日 毎週月曜日（祝日のときは、次の平日）、12月29日~1月3日
- 敷地面積 約6,283.24㎡
- 延床面積 約3,967.42㎡（1F 3,634.66㎡ 2F 332.76㎡）
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建
- 完成 平成9年1月24日（平成8年5月17日 着工）
- 事業費 約11億5,000万円
 - 1F 運動場（50m×60m、人工芝）
 - 2F トレーニング室（256㎡）
 - ・フットサル 2面（ゲートボールなら4面）・駐車場 26台（うち身障者専用1台）
 - その他各種スポーツ競技及び練習に使用可
 - 投球練習場（ブルペン3人立）
 - 更衣室等
- 利用状況 平成22年度96,210人でフットサル、ソフトボール等の各種大会、また展示会等の会場と

して広く利用されている。

③ 鴨池公園広場（補助グラウンド）

- 開場日 昭和15年7月
- 利用時間 8:30~17:00
- 休場日 12月29日~1月3日
- 面積 7,404m²
- 利用状況は、平成22年度7,083人で、主に高校野球の練習会場、少年サッカー等に利用されているが、その他レクリエーションにも広く市民に利用されている。

④ 鴨池公園テニスコート

- 開場日 昭和25年10月
- 利用時間 8:30~17:00
- 休場日 12月29日~1月3日
- 面積 4,007m² ○ コート数 4面
- 昭和57年度全国高校総体開催 平成9年度砂入り人工芝コートに改修（コート数5面から4面に）
- 利用状況は、平成22年度26,830人

⑤ 鴨池公園水泳プール（鴨池二丁目31番3号 ☎251-1288・FAX808-0021）

- 利用時間 メインプール・サブプール 9:00~21:00
飛込みプール 9:00~18:00
- 休館日 毎週月曜日（祝日のときは翌平日）、12月30日~1月3日
- 敷地面積 12,456m²（延床面積11,792.16m²）
- 施設構造 地下1階 地上3階 鉄筋コンクリート造 屋根鉄骨造
- 施設特長 温水熱源をオール電化、オーバーフロー水還流設備、LED照明設置、太陽光発電設備（2kwh）
- 昭和56年管理棟、屋内プール、放送設備等改修
昭和57年度全国高等学校総合体育大会会場
昭和62年屋内プール解体・新築
平成20年屋外プール解体
平成22年度メインプール・飛込みプール新築、サブプール改修

ア. メインプール（開放期間：通年）

長辺方向50m 10コース（8コース日本水泳連盟国際公認）
短辺方向25m 20コース（8コース日本水泳連盟一般公認）
可動床（3分割） 深さ0~3mで調節可能
観覧席 固定席1,554席 車椅子席24席 仮設席500席 計2,078席

イ. サブプール（開放期間：4~9月）

25m 8コース（8コース日本水泳連盟一般公認）
深さ1.2~1.3m

ウ. 飛込みプール（開放期間：5~9月）

長さ22m 幅20m 深さ5m（日本水泳連盟国際公認）
飛込み台 0.3m, 1m, 2.5m, 5m, 7.5m, 10m
飛び板 0.75m, 1m, 3m

エ. 幼児用プール（サブプールに付設 開放期間：4~9月）

長さ6m 幅17.4m
深さ0.4~0.6m

オ. 利用状況

利用者数は、平成22年度46,466人となっている。

5. 体育施設

(平成23年4月1日現在)

施設名	開館(開場)	所在地(敷地面積(㎡))	構造(延面積(㎡))	内容	休館日・その他
市民体育館	昭和53年4月1日	坂之上一丁目21番1号 電話 261-5115 FAX 261-4093 (17,308㎡)	本館 鉄筋コンクリート造2階建(2,363.25㎡) 補助館 鉄筋コンクリート造(661.15㎡)	バレーボール(本館3面, 補助館1面), バスケットボール(本館2面, 補助館1面), バドミントン(本館8面, 補助館3面), 卓球(本館18台, 補助館6台), ハンドボール本館1面, ソフトテニス本館2面, 屋外テニスコート2面	休館日 毎週水曜日(祝日のときは次の平日)・12月29日～1月3日 利用時間 9:00～21:00
東開庭球場	昭和45年9月10日	東開町2番地の1 電話・FAX 268-5572 (26,238㎡)	-	テニスコート16面(10面夜間照明設備を設置), スタンド(中央部140㎡, 両側280㎡)	休場日 12月29日～1月3日 利用時間 8:30～21:00
桜島総合体育館	昭和61年4月1日 (補助館: 平成4年4月1日)	桜島横山町1722番地17 電話 293-2967 FAX 293-2877 (1,122.2㎡)	本館 鉄筋コンクリート造2階建(4,359.04㎡) 補助館 鉄筋コンクリート造(1,039.5㎡)	バスケットボール(本館2面), バレーボール(本館4面, 補助館2面), バドミントン(本館12面, 補助館6面), 卓球(本館25台), トレーニング, 会議室	休館日 毎週月曜日(祝日のときは次の平日) 12月29日～1月3日 利用時間 8:30～22:00
桜島溶岩グラウンド	昭和54年4月1日	桜島横山町1722番地17 電話 293-2967 FAX 293-2877 (87,530㎡)	-	サッカー5面, ソフトボール8面(第1, 第2, 第3)	
桜島多目的広場	平成17年8月1日	桜島横山町1722番地17 電話 293-2967 FAX 293-2877 (18,348㎡)	-	芝生広場(サッカー1面) 野外ステージ	
松元平野岡体育館	平成5年5月1日		鉄筋コンクリート造2階建(5,313.48㎡)	バスケットボール2面, バレーボール4面, バドミントン12面, 卓球52台, 会議室, 多目的ルーム, 温泉施設	休館日 毎週月曜日(祝日のときは次の平日) 12月29日～1月3日 (温泉施設は22年度から年末年始も営業) 利用時間 8:30～22:00 (温泉は10:00～22:00)
松元平野岡運動場	平成3年4月1日	上谷口3400番地 電話 278-5100 FAX 278-5275 (123,268㎡) ※運動場・ドーム含む	-	多目的グラウンド(ソフトボール2面), 補助グラウンド, テニスコート4面, 茶山房(研修施設), パターゴルフ場, 草スキー場	
茶山ドーム	平成16年4月1日		鉄筋コンクリート造平屋建(2,608.64㎡)	フットサル2面, ゲートボール4面, テニス3面, 会議室	
松元武道館	平成9年11月1日	上谷口町2994番地12 電話 278-5100 FAX 278-5275 (1,482.84㎡)	鉄骨造2階建(634.62㎡)	柔道場(畳敷き1面) 剣道場(板張り1面)	
松元弓道場	平成7年11月1日	上谷口町3011番地1 電話 278-5100 FAX 278-5275 (1,409㎡)	木造平屋建(304.86㎡)	弓道場(近的6人立)	
松元せせらぎ広場	平成14年4月1日	上谷口町3030番地 電話 278-5100 FAX 278-5275 (7,606㎡)	-	25mプール, 児童プール, 幼児プール, 広場	使用期間 (1)7月1日～7月19日までの土曜日及び日曜日 (2)7月20日～8月31日 利用時間 10:00～18:00
喜入総合体育館	昭和56年9月1日	喜入町6166番地 電話・FAX 345-2383 (75,174.13㎡) ※運動場を含む	鉄筋コンクリート造平屋建(4,824.52㎡)	バスケットボール1面, バレーボール4面, バドミントン12面, 卓球8台, 多目的ルーム, 会議室	休館日 毎週月曜日(祝日のときは次の平日) 12月29日～1月3日 利用時間 8:30～22:00
喜入総合運動場	昭和56年4月1日		-	陸上競技場, テニスコート8面, 相撲場, 多目的グラウンド(サッカー1面, ソフトボール2面)	
喜入武道館	昭和53年3月1日	喜入町7144番地 電話・FAX 345-2383 (1,350㎡)	鉄筋コンクリート造平屋建(735.52㎡)	柔道場(畳敷き1面), 剣道場(板張り1面), 弓道場(近的5人立)	休館日 12月29日～1月3日 利用時間 8:30～22:00
吉田文化センター	平成6年3月1日	本城町46番地 電話 294-4477 (15,191㎡)	鉄筋コンクリート造2階建(5,855.92㎡)	バスケットボール3面, バレーボール4面, バドミントン12面, 卓球6台, トレーニング室, 会議室	休館日 毎週月曜日(祝日のときは次の平日) 12月29日～1月3日 利用時間 8:30～22:00
吉田運動場	昭和61年4月1日	本城町46番地 電話 294-4477 FAX 294-4478 (80,829㎡) ※多目的屋内運動場含む	-	グラウンド(ソフトボール2面), テニスコート(3面), ゲートボール(2面)	
吉田多目的屋内運動場	平成17年2月1日		鉄筋コンクリート造(1,190.12㎡)	フットサル1面, テニスコート1面, ゲートボール2面	
郡山総合運動場	平成9年4月1日	東俣町1401番地 電話 298-8448 FAX 298-8451 (192,132㎡)	-	多目的競技場(サッカー2面, ソフトボール4面), 多目的広場, テニスコート6面, グラウンドゴルフ場	休館日 12月29日～1月3日 利用時間 8:30～22:00
郡山早馬球技場	昭和57年4月1日	郡山町1646番地 電話 298-8448 FAX 298-8451 (22,417㎡)	-	グラウンド(ソフトボール・野球1面)	
郡山花尾運動場	昭和57年4月1日	花尾町422番地3 電話 298-8448 FAX 298-8451 (6,907㎡)	-	グラウンド(ソフトボール1面)	

鹿児島アリーナ

鹿児島アリーナは、国際・全国規模のスポーツ大会が開催可能な本格的なスポーツアリーナであると同時に、各種イベントの開催も可能な多目的機能を有したイベントホールである。

施設としては、各種屋内スポーツのできるメイン・サブアリーナのほか、武道場、弓道場、トレーニング室、EXスタジオなどの施設を整え、市民の健康・体力づくりのための中核的施設として、多くの市民に利用されている。

1. 施設の概要

- (1) 開館 平成4年10月20日
- (2) 所在地 永吉一丁目30番1号 (☎285-2244 FAX258-4570)
- (3) 利用時間 9:00~21:00
- (4) 休館日 毎週金曜日、12月29日~1月3日
- (5) 建設規模
 - 敷地面積 35,114.34m²
 - 建築面積 13,570.37m²
 - 延床面積 29,023.31m²
 - 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 - 規模 地上3階・地下1階
- (6) 主な施設
メインアリーナ・サブアリーナ、武道場(1・2)、弓道場(和弓)、トレーニング室、健康体力相談室、EXスタジオ、会議室、軽食喫茶室、駐車場等(全館冷暖房完備)
- (7) 利用申込み
メインアリーナ等の専用使用については、1年前の同月の初日から仮予約を受け付ける。
専用使用以外のグループ等の利用については、使用日の前々週の日曜日から受け付ける。
- (8) 利用状況 平成22年度 325,955人

2. 施設機能の内容

- (1) メインアリーナ
最大席数約5,700席を備え、「観る」機能も充実した本格的なスポーツ施設である。
催し物に対応して1階客席の配置形状を6種の形状から選択できる(シーティングシステム)ほか、音響・照明施設、舞台機構を備えており、各種屋内運動競技、講演会、コンサート、その他イベント等の多目的使用が可能である。
- (2) サブアリーナ
「ドゥ・スポーツ施設」として市民がグループで気軽に利用できる施設であり、スポーツ・レクリエーション活動を通してコミュニケーション増設の場として利用できる。
- (3) 武道場
畳敷き2面、板張り2面の計4面となっており、柔道、剣道、空手道等各種武道の大会のほか、グループや個人でも利用できる。
また、大会時には4面一体的利用も可能である。
- (4) 弓道場
和弓の近的競技専用道場(10人立)であり、各弓道大会のほか、個人でも利用できる。
- (5) トレーニング室、EXスタジオ
トレーニングマシンを備え、技術指導や健康体力相談サービスを行い、市民の健康の維持・増進、体力の増強を図る。
EXスタジオではAV機器を備え、軽体操による健康維持・増進を図る。